

Kirishima City Public Relations, Japan

2

February .2015
VOL.203

霧島

広報きりしま

特集 Special Feature

いつも心に“歌”を

使ったトク
クーポン

オリジナル
Post Card
付

いつも心に“歌”を

人生を豊かにする歌のチカラ



歌は私たちの日常にあふれています。
歌っている人の表情はとても魅力的です。
近年、人の心や体にいい影響があるとして注目され、
さまざまな場面で歌われる歌。
歌にはどんな力があるのでしょうか。
今回の特集で探ってみました。

歌ってきても、本当によかった

霧島市には歌で思いを伝えようとする多くの人がいます。その中の一人、シンガーソングライターの榎木真之さん(32)。自分を中心にギターの弾き語りや等身大の自分を歌う彼は「歌が人生を救ってくれた」と打ち明けます。

諦めかけたとき「歌」があった

榎木さんが歌い始めたのは中学3年のとき。独学で覚えたギターで作曲するほど夢中になります。しかし、高校へ入学したところから自分の生き方や進路に悩み、自宅へ引き込まれるようにな



榎木真之さん(32)
隼人町見次在住
鹿児島市出身。鹿児島南高校卒業。自作曲は100曲を超え、その多くは譜面ではなく、体で覚えている。FMきりしまのパーソナリティー。愛称は「まさやん」。

いつでも声を掛けてください!皆さんとの触れ合いを待っています!

地域のイベントなどにも積極的に出演する榎木さん

ります。学校にも行けない自分を責め、苦しむ榎木さん。歌うことも忘れていました。そんな榎木さんは立ち直ったきっかけをこう話します。

「もう駄目、と思ったとき、ふと心に浮かんだのは『歌』の存在。歌っていたときの楽しさを思い出し、『やっぱり歌いたい、そのために次の一歩を踏み出そう』と前向きな気持ちになることができました。歌っていなければ、今の自分はいなかったと思います」

歌は「出会い」をつくる

鹿児島市で暮らしていた榎木さんが霧島市に住むようになったきっかけも「歌」でした。

榎木さんが高校を卒業し、たまたま国分へ来て街なかで歌ったときのこと。知らない土地で歌う不安の中、多くの人に励ましの声を掛けられた榎木さんは霧島の人の温かさに魅了され「ここで歌いたい」と移住を決心。今はFMきりしまのパーソナリティーとしても活躍し、市民との交流を大切にしています。そんな榎木さんは、歌の魅力について話します。

「歌には多くの出会いをつくる力があります。気付けばたくさん友人が

できました。歌は感情を解放し、楽しさも悲しさも共有できるもの、心の距離を縮めてくれます。一緒に歌えば、誰であろうと関係ない、そんな気にさせてくれます」

さらに、霧島市内で認知症や介護などについて紹介する劇団「たけちゃん一座」で歌うようになったことも大きな出会いだったと振り返ります。

「高齢者の方が本当に喜んで聴いてくれます。それがうれしくて、昔の歌もたくさん覚ええました。おかげで、歌の世界が広がり、新たな魅力を知ることになったりしました。社会問題などについても考えるようになり、人として大きく成長できたと感じます」

歌うことが天職といい、霧島市を「自分のふるさと」と話す榎木さん。

♪生まれたまちじゃないけど

このまちが大切なホームタウン♪

自作曲『ホームタウン』でそう歌い、「本当に歌を続けてきてよかった」とほほ笑みました。



榎木さんの自作曲「ホームタウン」を動画で楽しめます。



FMきりしまのブースで番組の収録を行う榎木さん

霧島市健康福祉まつりの「たけちゃん一座」公演で榎木さんが歌います。(入場無料)

- 日時= 2月15日(日) 午前9時30分~10時20分(開場=午前9時)
- 場所=霧島市民会館
- ☎=保健福祉政策課 ☎(64)0904

FMきりしまで榎木さんの番組が聴けます。

- 日時=毎週火曜、午後8時~9時(再放送)毎週日曜、午後4時~5時
- 番組名=まさやんの本日は晴天なり
- 周波数=76.9MHz

※スマートフォンでアプリをダウンロード(無料)すると、どこでも聴くことができます。

FMきりしまアプリ



「たけちゃん一座」の公演で自作のテーマ曲を弾き語る榎木さん

歌は“心”と“体”に効きます

歌うと心が弾み、元気がでてきませんか。歌にはすごい力が隠れています。
鹿児島国際大学准教授で音楽療法士の中村ますみさんにその秘密を聞きました。

音楽療法とは、「音楽の持つ効果を理解し、意識的に音楽を活用して参加者に良い変化をもたらそうとすること」です。これまで児童療育施設、養護学校や高齢者施設などで、多くの方に接してきました。効果は人により幅があり、質的にも異なりますが、音楽を聴いたり歌ったりすることで、ほとんどの方に良い変化が表れました。

体を強くし、心を癒やす

「歌う」という行為は、日常生活ではほかにあまり例のない、長い息を操ることであり、普段は使わない筋肉を使います。姿勢を保ち腹筋を使うことがそれにあたり、心肺機能を向上させ、口の周りの筋肉も発達します。それが唾液の分泌を促し、

口の中の衛生状態を向上させます。その結果、免疫力が高まる効果も期待できます。

認知症予防にも効果があります。「大声で歌うこと」そのものが非日常的な行為で、平板になりがちな生活の刺激となります。歌う時は歌詞を追ったり思い出そうとしたりするので、複数の作業を同時に行うことが脳を活性化させます。懐かしい歌を歌うことがきっかけで、当時の楽しかった出来事などを思い出し、やる気と自信を取り戻したケースを数多く見てきました。

発達障害のある子どもは、音や歌を聴くことが言葉の獲得につながり、意思の疎通が可能になることもあります。何年も話せなかった子どもが1年半でコミュニケーションをとれるよう

になったこともありました。

楽しんで歌うことはストレスを発散させ、精神を安定させます。子守唄の効果も同じで、自らの歌うリズムに心が安らぎ、リラックスした精神状態が幼児に伝わるのだと思います。

生活の質を高める

歌は一人ではなく誰かと一緒に歌うことで、人間関係や生活の質(*QOL)の向上にも大きく貢献します。

音楽の持つメロディのうねりは心の動きにも同様なものを生み出しやすいので、歌うことで大勢の方が同じような気持ちを共有できます。そのため、互いの心の距離が縮まり、信頼や安心感が生まれて、コミュニケーションも増えます。さらには、人間関係が広がり、生活における選択肢や活動の可能性も広がります。そのことが本当の「生活の質の向上」といえるのではないのでしょうか。

※QOL／クオリティ・オブ・ライフとは、人がどれだけ人間らしく自分らしい生活を送り、人生に幸福を見いだしているか、ということの尺度としてとらえる考え方。

音楽療法が目指す効果の例

心理的効果	<ul style="list-style-type: none">心の緊張を解きほぐし、不安やストレスを軽減する自己の尊厳を回復させる痛みや悩みを緩和させる
身体的効果	<ul style="list-style-type: none">運動能力を維持、向上させる感覚や反応を向上させる心肺機能を高める
社会的効果	<ul style="list-style-type: none">集団内の交流を促す社会や他人と協調する行動を増やすコミュニケーション能力を向上させる楽しさや遊び、ユーモアの場をつくる余暇活動を充実させる
認知的効果	<ul style="list-style-type: none">脳を活性化させる集中力を高める回想を促し、記憶を呼び起こす

中村ますみさん(52)

奄美市出身。鹿児島大学教育学部音楽科卒業。昭和61年、鹿児島県教員。平成10年、県立牧之原養護学校へ赴任。平成17年、鹿児島国際大学短期大学部音楽科助教授。平成25年、同大福祉社会学部児童学科准教授。日本音楽療法学会認定音楽療法士。音楽療法研究会「日々輝(ひびき)」代表。鹿児島市在住。



記憶力も衰えません カラオケは私の「生きがい」



7年前に一つの歌が好きになって始めたカラオケ。その後、重病で手術を何度も受けましたが、今も自分のことは自分でできるくらい元気です。昔覚えた童謡や民謡の歌詞を思い出して手書きで歌詞カードにしていますが、100曲以上できました。デイサービスの皆さんと一緒に歌っています。大きな声でみんなと歌う時が一番楽しい。今では歌は、私の「生きがい」です。

へん た なた お
邊田 建夫さん (89)
牧園町下中津川在住

思いきり声を出して 笑ってくれるようになりました

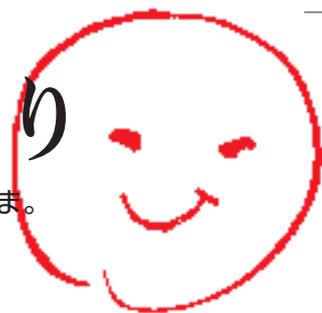


発達障害のある息子が月1回の音楽療法に通うようになってから、音楽が流れると自分で楽器に手を出して音を鳴らしたり、足をバタバタさせたりして、楽しさを体全体で表現するようになりました。一番変わったのは、緊張のせいか、家族の前でしか見せなかった笑顔や声を、外に出ても思いきり出せるようになったこと。音楽療法是家族にとって何よりも大切な時間になっています。

ます み かい と
福丸 増美さん (28)、海斗くん (4)
隼人町小浜在住

歌うところに笑顔あり

リラックス効果や、認知症予防など歌がもたらす効果はさまざま。それはみんなの笑顔につながっています。



歌のおかげで心が落ち着き 人に優しくなれます



歌と人が大好きで、若いころバスガイドの仕事に就き、現在は介護に関する相談の仕事をしています。いろいろな悩みにぶつかったときも、歌を歌うと何もかも忘れて笑顔になれます。元気がない人も一緒に歌えば「明日も頑張れるよ」と前向きになれます。歌のおかげで毎日の生活に張りが出て、心が落ち着き、人に優しくなれます。歌にたくさん救われてきました。心から感謝しています。

うち ちよこ
内 千代子さん (57)
横川町上ノ在住

私の健康法は「歌」 交流も広がり、毎日が楽しい



20代のころから地元バンドや地域の祭りですっと歌ってきました。歌は楽しんで大きな声で歌うことが大事。うまさは関係ありません。歌えば、適度な運動で肺が鍛えられ、血行も良くなります。ご飯もおいしくなり、よく眠れます。私にはカラオケが趣味の友人が大勢います。歌のおかげで毎日を楽しく元気に過ごせます。私にとって歌は一番の「健康法」です。

たか お
坂口 孝夫さん (74)
福山町福山在住



自由になった**歌**声の歴史

今年、終戦から70年の節目を迎えます。今でこそ多くの人が好きな歌を歌うことができますが、歌を自由に歌えない時代がありました。

よみがえる記憶

隼人の公民館講座で童謡や唱歌、世界の歌などを教えている今林三夫さん(75)。「ふるさと」や「仰げば尊し」など誰もが一度は聴いたことがある懐かしい歌を、今林さんのピアノの伴奏に合わせ大きな声で生き生きと歌う受講生の姿が印象的です。今林さんは歌唱指導のほかにも、歌詞の意味やその歌ができた時代背景などを、詳しく丁寧に教えていきます。

幼少期に戦争を体験した今林さんは、当時のことを昨日のことのように振り返ります。

「戦時中は歌を聴いたり歌ったりした記憶がほとんどありません。学校で『流行歌を歌わないようにしましょう』と教えられたことを覚えています。当時は、戦意を下げる行為は禁じられていました。自分より年配の方の中には、軍歌の『勝利の日まで』ばかり歌ったと話す人もいました。私自身も『は埴生の宿』や『に庭の千草』などの英国民謡が日本語訳で歌われていた記憶があります。あのころは歌も全て国の管制下に置かれていました」

その事実を裏付けるような体験もありました。

「戦時中、歌った姿を見たことがなかった母が、戦争が終わると実に多くの歌を歌っていました。子ども心に、『知っていたけど、あえて歌わなかったのでは』と思い、どれだけ戦争が歌の自由を奪っていたか感じました」

歌は平和の象徴

戦争が終わり、今では誰もが自由に歌を楽しめるようになりました。大学で本格的に学んだ音楽の知識を生かし、歌を教える今林さんは、受講生の歌う姿からもそのことを感じるといいます。

「笑顔で歌う皆さんを見ると、私まで元気をもらえます。歌は楽しいから歌う。当たり前のことですが、それができない時代を知っているからこそ、そのありがたみが分かります」
苦難の時代を経て、好きな歌を大勢で合唱する姿。それは平和の象徴の一つなのかもしれません。



今林三夫さん(75)
指宿市出身。宮崎大学学芸学部で音楽を専攻し、昭和37年鹿児島県の教員となる。平成2年、霧島吹奏楽団の設立にも力を尽くした。隼人町姫城在住。

歌い継ごう “郷土愛”

霧島市には「霧島市歌」と愛唱歌「風はここから」、「好きですふるさと霧島市」、音頭「おじゃんせ霧島」の4曲の市の歌があります。合併2周年に合わせ、全国に歌詞を公募。寄せられた248点の歌詞の中から選考委員会が4作品を選定し、市ホームページで公表。その後曲を公募し、集まった200曲の中から選ばれました。

霧島市歌を作詞したのは国分重久の平邦範さん(61)。平さんはその詞に次のような思いを込めています。

「日本発祥といわれるこの地には、素晴らしい自然と文化があり、世界へ通じる空港や海があります。しかし、未完成の素材の宝庫だとも感じています。七色の虹に見立てた7つの地域が一つになることで、より多くの魅力が発揮されてほしいと願っています」

歌は人生の道しるべ

平さんの出身地は、古くから鳥唄が歌い継がれる大島郡喜界町で、30年前に霧島市へ移住してきました。それ以来、平さんは故郷への憧れを忘れられず、島での思い出や自然、歴史をつづつ

た詞を「伴久志」の名で数多く残しています。平さんが霧島市歌を作ったのも、故郷から離れて暮らす自分が、鳥唄に救われたことから。

「今でも鳥唄を聞いただけで、懐かしい光景がよみがえり、目頭が熱くなります。島を出た私は、成功していかふるさとに恩返しをしたい一心で頑張ってこられました。鳥唄は私の人生の道しるべなのです」

霧島市でも若者が職を求めて都会へ出ていく姿があります。平さんは地域消滅がささやかれる今こそ、故郷を一つにする歌が必要だと力を込めます。

「同じまちで同じときを過ごした者同士が一つの歌で分かり合える、それが『市の歌』だと思っています。それらを歌い継ぐことは、生まれ育ったまちへの誇りを高め、故郷のために力を尽くしたいと思わせてくれます。例えばそこを離れても、永遠に心の支えになり、子孫へ歌い継がれ、いつか霧島市への縁がつながると信じています」

今年には市制施行10周年、この機会に市の歌を覚えて歌い、故郷への思いを深めませんか。

霧島市歌

作詞：伴久志 作曲：高月啓充(岡山県)

一、連なる山並み 高千穂の

自然が息吹く 天降川

恵み豊かな 緑の大地

歴史は深く 心が通う

ああ霧島 わがまち霧島市

二、煙たなびく 桜島

無限に広がる 大空へ

希望を運ぶ 爽やかな風

世界に羽ばたく 先駆の誉れ

ああ霧島 わがまち霧島市

三、きらめく波の 錦江湾

虹の懸け橋 若人よ

未来に繋ぐ 七色の夢

色濃く漂う 文化の薫り

ああ霧島 わがまち霧島市

平邦範さん(61)
大島郡喜界町出身。埼玉県川口市で仕出し業をしたことから旧霧島町の黒豚と出会い、同町へ移住。(尚霧島高原ロイヤルパーク代表取締役社長。鹿児島県黒豚生産者協議会理事。国分重久在住。)



市のホームページから、霧島市歌、愛唱歌、音頭が聴けます。楽譜もダウンロードできます。皆さんも覚えて、学校や地域の行事で歌いましょう。



愛唱歌／「風はここから」作詞：今里修(鹿児島市)、作曲：村松聡(埼玉県) 「好きですふるさと霧島市」作詞：矢坂秀司(神奈川県)、作曲：矢野ちあき(福岡県)
音頭／「おじゃんせ霧島」作詞：石井昭吉(愛知県)、作曲：櫛下卓志(鹿児島市)

NPO法人きりしま創造舞台／平成16年、隼人町合併50周年がきっかけで、誇りと自信を持てる地域の創造を目的に「はやと創造舞台」として設立。平成21年に「きりしま創造舞台」に改名。平成24年に青少年育成、郷土文化継承などを目的にNPO法人化。市制施行5周年や大隅国建国1300年記念事業としても公演。



輝かせる「歌」

そこには多くの可能性がありました。

国民文化祭ミュージカル役者募集

- 公演=11月7日(土)、8日(日)／霧島市民会館
 - 応募締切=4月10日(金)
 - オーディション=5月9日(土)／国分シビックセンター
 - 対象年齢=平成27年度の小学4年生以上
- ※舞台をつくるスタッフは随時募集中です。

問 申=NPO法人きりしま創造舞台【地蔵原】
☎090(9728)0706

募集

昨年8月に上演された「大隅浪漫～1300年の時空を超えて～」で歌い、躍動する役者たち



徳満亮一さん(52)
隼人町出身。宮内小、隼人中、国分高校、西南学院大卒業。20歳で演劇活動を開始し、29歳で劇団ドリームカンパニーを設立。福岡県を中心に九州各地で舞台公演などを行う。

歌への強い思いを持っています。ミュージカルで大きな役割を担う歌役者の体が自然に動き、ダンスに発展します。観客の心を揺さぶり、舞台と

の役者の顔を思い浮かべて作るほど、歌への強い思いを持っています。ミュージカルで大きな役割を担う歌役者の体が自然に動き、ダンスに発展します。観客の心を揺さぶり、舞台と

今年10月から鹿児島県で開催される「国民文化祭」。霧島市で行われる7つの事業の中で、霧島演劇祭には市民参加型ミュージカル団体の「きりしま創造舞台」が出演します。

歌は自信と笑顔につながる

霧島市には、歌がきっかけで人生が輝き、まちが元気になる姿があります。そこにはたくさんの方々の笑顔がありました。

100年以上の歴史を持つ嘉例川駅を中心とした静かな山間の集落で、一つの歌が地域の絆を深めています。それは、同地区にある中福良小学校教諭の恩田由起子さん(57)が作詞・作曲した「嘉例川だより」。嘉例川の豊かな自然を歌い「いつかかえれ」と望郷の思いをつづっています。これまで屋久島など自然豊かな地で教鞭をとってきた恩田さんが、嘉例川の自然や集落に魅了され、初めて作ったこの歌。平成24年に同小の児童たちの合唱で披露されたのをきっかけに、プロの演奏や編曲によってCD化されました。

歌が地域の活性化に

「人前で一言も話せなかった子が、大声で歌い、堂々と役を演じるようになります。それは歌が本来の力を引き出しているから。歌には能力の抑止力や羞恥心を除く力があります。初めは大きな声を出すのは恥ずかしいですが、不思議とすがすがしい気持ちになります。それが次第に自信に変わっていきます。歌には人生を変える力があります。誰もが人生のテーマ曲を持ち、自分の可能性に挑戦し続けてほしいです」

会場が一つになるための大切な要素」と話します。徳満さんはこれまでも本番や稽古を見てきて、歌が持つ大きな力を目の当たりにしてきました。「人前で一言も話せなかった子が、大声で歌い、堂々と役を演じるようになります。それは歌が本来の力を引き出しているから。歌には能力の抑止力や羞恥心を除く力があります。初めは大きな声を出すのは恥ずかしいですが、不思議とすがすがしい気持ちになります。それが次第に自信に変わっていきます。歌には人生を変える力があります。誰もが人生のテーマ曲を持ち、自分の可能性に挑戦し続けてほしいです」

きりしま創造舞台の過去の動画や、「嘉例川だより」が視聴できます。
スマホやタブレットのアプリから二次元コードを読み取ってご覧ください。



←「嘉例川だより」はこちらから



←きりしま創造舞台はこちらから



「嘉例川だより」 作詞・作曲：恩田由起子、編曲：種子田博邦

楽器は弾けないという恩田さんが、3年の月日をかけハミングで作曲。人の縁がつながり、鹿児島市出身のプロの演奏・編曲家、種子田博邦さんの協力でCD化。1枚1,000円で4バージョンを収録。購入については嘉例川地区活性化推進委員会【山木】 ☎(43)9081 まで。

人生やまちを

歌にさまざまな思いを込める人がいます。

嘉例川駅前広場で毎年行われる「かれい川山里の恵みと森のおまつり」で、嘉例川だよりを合唱する中福良小の児童たち

I N T E R V I E W



恩田由起子さん (57)
福岡県北九州市出身。小学校教員として28歳で鹿児島県へ。屋久島町立神山小、鹿児島市立鴨池小、富隈小、志布志市立尾野見小を経て、平成21年4月に中福良小へ赴任。

それ以降、同小の卒業式や嘉例川駅前の地域のまつりなどで毎年児童に歌われ、地域の人々にも自然と覚えられています。また、CDを聴いた嘉例川出身者から「故郷を思い出した」などのお便りが届いたり、同地区を訪ねてくる人が増えたりするなど、大きな反響がありました。
嘉例川も過疎化で、同小の全児童44人のうち、33人は特認校制度でほかの



地域の一体感より強く

嘉例川地区活性化推進委員長
山木由美子さん (67)

「嘉例川だより」は地域の“シンボルソング”。ほぼ全世帯がCDを持っていて、秋の祭りで子どもたちの歌声に合わせ地域の方々が口ずさむ姿は、地域がよりまとまった証。私たちの故郷をすてきに歌ってくれて本当に感謝。これからも歌い継いでいきます。

地域から通学してきます。恩田さんは「この歌で少しでも地域や人々の結びつきが強まり、地域の活性化につながれば」と期待を込め、さらに「校区外から通学する児童もこの歌を歌って、嘉例川が故郷だと思ってくれたら。この歌が広まり、多くの人に嘉例川の魅力が伝わってほしい」と目を細めます。
歌えば、きっと見つかる
歌の力について探ってきた今回の特集。人の数だけ、歌への思いと笑顔がありました。霧島市は今年「新たな挑戦」を掲げ、市制施行10周年を迎えます。国民文化祭も開催されます。皆さんもつと歌の持つ力や魅力に触れ、新たな出会いや地域の良さを発見してみませんか。

たくさんの希望を胸に 1749人が大人の仲間入り



霧 島市が誕生して10回目となる成人式が、1月3日と5日に市内の7会場で開催されました。今回、成人を迎えたのは平成6年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた方で、霧島市では1749人（男940人、女809人）が大人の仲間入りをしました。

式典は、実行委員会を中心に各地区で工夫され、横川地区では地元シンボルでもある大隅横川駅で今年も開催。霧島地区では、ろうそくをともして大人の誓いをする「としびのつどい」があり、福山地区では特産品の黒酢で乾杯し、成人を祝いました。

各会場の対象者（出席者）は、国分地区880人（541人）、溝辺地区128人（92人）、横川地区50人（40人）、牧園地区80人（55人）、霧島地区55人（43人）、隼人地区500人（305人）、福山地区56人（48人）でした。



牧園地区
嘉茂 ゆうきさん (20)

人が温かいこのまちが大好きです。春から市内のホテルに勤めるので、お客さまにふるさとの良さを案内し、好きになってもらえるよう頑張ります。今まで支えてくれた家族、友人に感謝。



横川地区
山口 祐也さん (20)

作業療法士になるために勉強中です。リハビリは患者さんとの一対一の関わりが大切。信頼されるよう、技術だけでなく自分自身も磨いていきたい。将来は地元で開業することが夢です。



溝辺地区
笹塚 奈々美さん (20)

幼稚園教諭を目指して大学で勉強中です。笑顔を絶やさず、人のことを考えて行動できる大人になりたいです。育ててくれた母と天国で見守ってくれる父に感謝の気持ちを伝えたいです。



国分地区
永奥 里奈さん (20)

夢だった小学校の先生になるために県外で学んでいます。霧島市の自然の豊かさや人の優しさを改めて感じます。支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れずに、頑張っていきたいです。



福山地区
有村 優太郎さん (19)

陸上自衛隊国分駐屯地に勤務しています。自衛官としても社会人としても、自分の行動に責任を持ち、人のために力を尽くせる人間になりたいです。成人式での宣誓を忘れず、努力します。



隼人地区
山口 真代さん (20)

20歳になり早速選挙に行きました。社会参加できた喜びと1票の責任を感じました。将来の夢は心に寄り添える助産師になること。両親とお世話になった地域の皆さんに感謝したいです。



霧島地区
安栖 侑汰さん (20)

大学では手話サークルに入っており、手話を通じて社会福祉活動にも積極的に参加しています。自分の言葉や行動に責任を持って、目標とされるような大人になれるよう努力していきます。



火災多発

2か月で6人死亡 「もう一度確認を」

霧島市内で昨年11月から火災が相次ぎ、1月21日までに19件の火災が発生、6人の方が亡くなりました。

市では昨年12月20日から今年の1月7日までを特別警戒期間としていましたが、年明けの火災多発を受け、特別警戒を1月31日まで延長。消防団による巡回の強化、防災無線や自治会を通じての周知、民生委員の訪問、ケーブルテレビやFMきりしまなどマスコミと連携した周知を図るなど火災防止を訴えました。

就寝時間帯に増加

市内での火災状況を見ると、就寝中の発生が多く、亡くなられた6人は、全員が65歳以上の高齢者でした。

冬場は空気が乾燥しているため火災が起こりやすい状態。部屋を密閉している方が多く、煙がこもりやすいため、煙を吸い込んで動けなくなったのと市消防局では分析します。

火災警報器の未設置がまだ2割

平成23年から住宅火災警報器の設置

が義務化されています。

これまでも広報誌や市消防職員が住宅を訪問して設置を呼び掛けてきましたが、市内では未設置の住宅が、まだ約2割あります。

警報器のおかげで助かった方も多くいます。もしものために、必ず設置してください。

本当に大丈夫ですか

ストーブやコンロの火の消し忘れ、ストーブ近くで洗濯物を乾かすなど出

火の原因はそれぞれですが、そのほとんどが不注意です。

「あなたは本当に大丈夫ですか」

火事を起こした方は「まさか自分か」と思っていたはず。火災予防のため一番重要なのは、私たち一人一人の意識です。寝る前や出掛ける前には、もう一度火の元を確認することを徹底してください。

あなたやあなたの大切な人の命を守るためにも。

◎問 市消防局 ☎(64)0119

火災を起こさないためのポイント

- 就寝前や出掛ける前には必ず火の元を確認する
- 家の周りには燃えやすいものを置かない
- 天ぷらなどをするときはその場を離れない
- ストーブの近くで洗濯物を干さない、乾かさない
- 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
- 危険な行為や場所は、日ごろから家族などで共有する

もしものときの備え

- 住宅火災警報器を設置する（義務です）
- お年寄りや体の不自由な人は、逃げやすい部屋で寝る
- 消火器を設置する
- 地域で防災訓練を実施し、いざというときに地域で備える



昨

年、14年ぶりに霧島市に拠点を移した京セラ女子陸上競技部。

全日本実業団対抗女子駅伝で4度の日本一を誇るチームが、近年の低迷から復活をかけて再始動しました。

そのチームに4月から、市内の2人の高校生が入部予定です。横川町の立山沙綾佳さん(18・鹿児島女子高校)と隼人町の小松礼さん(18・国分中央高校)です。

立山さんは、県下一周駅伝などでも活躍した父の影響で陸上を始めました。中学の時には横川中学校女子駅伝チーム(ATG)のメンバーとして県大会優勝に貢献。その活躍が認められ、陸上の強豪でもある鹿児島女子高等学校に入学。2年の時には学校初の全国高校駅伝に出場し、3区を任されました。

順風満帆の競技人生に見えますが、中学2年のときには重い貧血になってしまい、少し走っただけで足が重くなり、「練習もしつかりできず、焦りと不安に押しつぶされそうでした」と振り返ります。そんな彼女を支えたのが家族でした。

「母は貧血に効く食事メニューを調べて、作ってくれました。父は、焦らなくていい」と励ましてくれました。そのおかげで前向きになれました。私が走れるのも、たくさんの支えのおかげ。粘り強い走りで見返したいです」

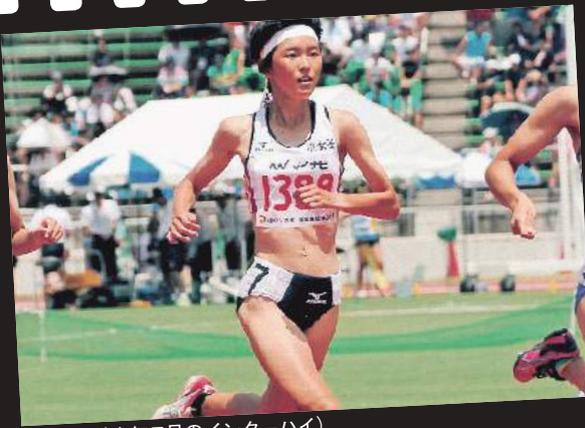
夢はオリンピック 目標は 京セラを日本一に

平成27年京セラ女子陸上競技部入部予定

このコーナーでは、各分野で活躍する子どもたちを紹介します。夢に向かって頑張る子どもたちを、ぜひ応援してください。



Introduction



立山さん(昨年7月のインターハイ)



小松さん(昨年6月の南九州大会)

小松さんは、もともと走るのが好きで、中学から陸上を始めました。しかし、部活のメンバーはみんな小学校から陸上をしていた人ばかりで、最初はジョギングにもついていけませんでした。それでもそのころは、「経験がないから仕方がない」と開き直っていました。が、中学1年のとき出た大会で初の最下位に。そこから彼女の陸上にかける思いが変わりました。「悔しくて泣きました。それまでの自分の甘さを反省し、自主練を始めました。大会に出るたびに記録が伸び、高校3年のとき初めて入賞。それでも私は無名の選手、京セラに入るメンバーの中でも一番下。とにかく雑草魂で頑張るしかないと思っています」

京セラチームでの目標は「全日本実業団駅伝で日本一」。夢は「東京オリンピック出場」と少し照れくさそうに話した2人。しかしその目は、希望にあふれていました。



国分中央高校3年
小松 礼さん(18)
宮内小学校、
隼人中学校卒。



鹿児島女子3年
立山沙綾佳さん(18)
横川小学校、
横川中学校卒。

世界のホットドリンク
レシピ

誠文堂新光社 編

世界各国のドリンクレシピを
家庭で再現。寒い日に毎日飲
みたいあったかい飲み物レシ
ピ85品。



ご破算で願いましたは
梶よう子 著

事故で両親を失ったお瑛。
しつかり者のお瑛と頼りない
兄が活躍する下町よろず屋繁
盛記。



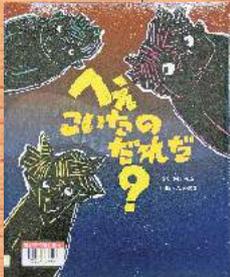
トルロとにひきの
いたずらこやぎ
松居スーザン 作

ハイジとペーターはいたずら
が大好きなこやぎ。市場に行
く途中で買い物リストを食べ
てしまい、おそろしいトルロ
に遭遇して…。



へえこいたのだれだ？
平田昌広 作

ぷう。あれれ？誰だ、おな
らしたやつは！小鬼3兄弟の
おならをめぐるミステリー！



図書館へ行こう

<http://www.lib-kirishima.jp/>

「ほるとの森」へ感謝状

日本図書館協会より「ほるとの森」へ感謝状が贈られました。
「ほるとの森」は平成9年に発足。毎月第2・4土曜日に国分
図書館でおはなし会を実施しています。小規模校でのおはなし
会のほか、依頼により保育園や幼
稚園、小学校、中学校でのおはな
し会、自作の人形劇も実施するな
ど、工夫して取り組んでいます。



問・申＝国分図書館 ☎(64)0918

私の宝本

絵本の中は
想像で
いっぱい

(国分姫城在住)
たま
田間 美沙緒さん
おすすめの本

娘が幼いころ、眠るまでの
ひとときを、多くの絵本を読
んであげました。この絵本は
文章がなく、白黒の絵と赤い
傘が印象的で、絵だけを見て
もお話は分かります。雨の中、
駅までお父さんを迎えに行く
女の子。途中、いろいろなス
トーリーを作って楽しんだこと
を思い出します。

かさ
作者：太田 大八

イベント名	日時[対象]	場所・問い合わせ先
赤ちゃんとわらべうた・えほんのへや (りんごの木)	3月 2日 (月) 10:30 ~ 11:00	国分図書館
幼児と小学生のためのおはなしの部屋 (りんごの木)	3月 7日 (土) 10:30 ~ 11:30	
ほるとの森おはなし会	2月14日 (土)、28日 (土)、 3月14日 (土)、28日 (土) 14:00 ~ 14:30	
おはなしの部屋	2月15日 (日) 11:00 ~ 11:30 [幼児・小学生] 3月 5日 (木) 16:00 ~ 16:30 [幼児] 3月 6日 (金) 11:00 ~ 11:30 [赤ちゃん]	隼人図書館
語りの部屋 (語りの会あもり)	3月 8日 (日) 11:00 ~ 11:40	霧島図書室 福山図書室
お話の時間 (紙ふうせん)	2月16日 (月) 15:30 ~ 16:30	
おはなし広場	2月28日 (土) 10:00 ~ 11:30	

霧島市立図書館に おいでください。

霧島市7か所の図書館(室)で
本が借りられます。

国分図書館 / ☎64-0918
隼人図書館 / ☎43-7574
溝辺図書室 / ☎58-3191
横川図書室 / ☎72-1596
牧園図書室 / ☎78-3349
霧島図書室 / ☎57-0316
福山図書室 / ☎56-2026

思い出の味

Recipe (レシピ)

ヒラヤーチー

〈材 料〉1枚分

小麦粉（薄力粉でも強力粉でも）50g、
水60cc（具材の水分量に合わせて加減）、
好きな野菜や果物（写真は小松菜20g、
ニンジン10g）、塩ひとつまみ

〈作り方〉

- ① 小麦粉と塩、水を混ぜる。
- ② 野菜を千切りにし①に混ぜる。
- ③ フライパンを熱し薄く油を引く。
- ④ 生地をおたまで流し込み、おたまの裏でならす。
- ⑤ 焦げ目が軽くつく程度まで弱中火で焼く。（焦げ目をつけずに焼くとよりモチっとした食感になる）

※おかずの場合は、お好みでしょうゆやソースなどをつける。

※モズクやアオサノリを入れてもよい。

※レーズンやリンゴ、カボチャなどを入れるとおやつにもなる。

※貝なしで作って、おかずを乗せたり、巻いたりして食べてもよい。



天

地^{いっさい}一切のお恵みと、これを作ってください

た人々のご苦労に感謝していただきます。食事前の感謝の言葉を幼いころから日課としている山下和穂さん（32）。結婚した今でも夫と2人の子どもと一緒に続けています。

国分塚脇の山々に囲まれた場所に暮らし、飲み水やお風呂の水に使うのは山の湧き水。「すごくおいしくて、出掛けるときも水筒に入れて持って行きます。子どもたちもジュースを買ってとか言います。」

山下さんが生活の中で一番大切にしているのが食事。地元のものを使い、手作りにこだわります。それは母・奈穂さん（66）の影響。沖縄で生まれ、戦後の貧しい時代を生きてきた奈穂さんは「食」への思いが強く、それは結婚して東京に住むようになってからも変わりませんでした。

「便利な都会暮らし。それでも母は、ご飯だけでなく、おやつも全て手作り。食材は、皮や葉なども捨てずにほとんどを使っていました。母はよ

食への感謝の思いが詰まった「ヒラヤーチー」



◎国分塚脇
かずほ
山下和穂さん(32)

く沖縄のころの体験を話し、食の大切さを教えてくれました。その思いが私にもしみ込んでいくんだと思います」

母の料理の中でも一番身近で、自分でもよく作るのが「ヒラヤーチー」。小麦粉に好きな具を入れて焼く沖縄料理で、「平たく焼く」という意味があります。

「砂糖などをあまり使わず、食材の味を生かした母の料理は、優しい味がします。中でもヒラヤーチーは、いつも食卓に並んでいた。当たり前なもの。健康を考えて旬の野菜や果物を使っていました。いつも家族のことを考えてくれる母。私も同じ立場になって改めてその優しさを感じます」

山下さんがヒラヤーチーを作るときに使う水は自慢の湧き水。天地の恵みと作ってくれる人への感謝の思いを込めて、今日も食卓にはヒラヤーチーが並びます。

錦江湾奥会議とは、錦江湾奥部に位置する鹿児島市、始良市、垂水市、霧島市の4市が、行政区を越えて連携し、地域活性化を図ることを目指します。



両会議の活動やイベントカレンダーをこちらから確認できます。

錦江湾奥会議



環霧島会議

環霧島会議とは、霧島山を取り巻く鹿児島・宮崎両県の5市2町で構成され、県境を越えて連携し地域活性化を図ります。

目指せ！世界ジオパーク認定



錦江湾奥イベント

始良市 加治木初市



- ・期日=2月28日(土)、3月1日(日) 午前9時～夕方
 - ・場所=加治木かもだ想い通りほか(加治木町本町)
 - ・内容=江戸時代から続く、県内三大市の一つ。特産品、苗木、竹製品などが並びます。
- 問=始良市商工会加治木支所 ☎(63)2295

鹿児島市 かがしま近代文学館企画展



- #### 「続 向田邦子の装い」
- ・期日=3月2日(月)まで
 - ・時間=午前9時30分～午後5時30分
 - ・場所=かがしま近代文学館(城山町5-1)
 - ・内容=向田邦子が身に着けた洋服や靴など、おしゃれに関する資料約90点を展示します。
- 問=かがしま近代文学館 ☎099(226)7771

垂水市 冬も楽しめる！森の駅たるみず



- ・期日=3月31日(火)まで
 - ・場所=猿ヶ城溪谷森の駅たるみず(垂水市新御堂1344-1)
 - ・内容=リーズナブルな宿泊料に全コテージに温泉も整備され、また地元の食材を楽しめる鍋プランもご用意しています。
- 問=猿ヶ城溪谷森の駅たるみず ☎0994(32)9601

環霧島・錦江湾奥イベント情報

環霧島イベント

高原町 第2回「日本発祥地まつり」



- ・日時=2月11日(水・祝) 午前8時30分～午後2時30分
 - ・場所=狹野神社、皇子原公園多目的広場
 - ・内容=伝統芸能(神楽、棒踊り、奴踊りなど)の披露や観光物産展、農産物の販売などがあります。
- 問=高原町観光協会 ☎0984(42)4560

都城市 商家の雛祭り「雛の宿」



- ・日時=2月21日(土)～3月15日(日) 午前10時～午後4時
 - ・場所=旧後藤商家交流資料館
 - ・内容=明治33年に建てられた歴史ある商家に、古くから伝わる人形や金助鞠、明治時代の着物など、約800点の品々を展示します。
- 問=旧後藤商家交流資料館 ☎0986(58)6900

えびの市 打植祭



- ・日時=3月15日(日) 午前10時から
 - ・場所=香取神社、天宮神社
 - ・内容=香取神社の祭神である女神様が天宮神社の天宮様を御迎えに行き、年に一度の再開を果たすと伝えられ、木牛による農耕の打植神事などが行われます。
- 問=えびの市観光協会 ☎0984(35)3838

公園内には、全長630mの起伏に富んだクロスカントリーコースがあります。コースは芝で整備され、体への負担を減らしながら効果的な運動ができます。陸上競技場内トラックやジョギングコースを併用し、誰でも気軽に楽しむことができます。

気軽に利用できるクロカンコース

今回は小林市の総合運動公園を紹介します。小林総合運動公園は、市街地から約2kmの標高330mの高台にあり、多目的広場や陸上競技場、テニスコート、野球場など霧島山を一望しながら運動を楽しむことができます。



【宮崎県小林市】

競技力向上へ 大きな役割果たす

このコースは、陸上長距離の練習場としても活用され、昨年12月の全国高等学校駅伝競走大会で3年連続入賞を果たした小林高校駅伝部にとっても必要不可欠。同校の横山美和監督は、「起伏を走ることでも体幹が鍛えられ、選手たちの力もついてくる。このコースがあったからこそ3年連続入賞することができた」と話します。

また、日本陸上競技連盟オリンピック育成競技者女子長距離研修合宿でも利用されており、小中高生の競技力向上に大きな役割を果たしています。

◎問=小林市教育委員会保健体育課 ☎0984(22)79111



昨年12月に開催された小中学生のリレー大会の様子

剣の道に生きる

鹿兒島
澤

人の風景

THE SCENE Vol.97

霧島に生きる

一 瞬の動きも見逃さない鋭い眼光、道場に響き渡る気合いの声。相手が動いたところに小手を打ち込む剣道の技「出小手」を得意とし、若いころは「出小手の澤」として名を寄せた87歳の剣士がいます。澤公雄さんです。

所属する市の剣道連盟では最高齢。それでも年齢を感じさせない行動力で、国分南中学校剣道部のコーチとして、毎日、生徒たちの指導にあたります。以前教えていた広瀬道場剣道スポーツ少年団には相談役として顔を出し、自宅では素振りの稽古をするなど自身の研鑽にも手を抜きません。

叔父の影響で、澤さんが剣道を始めたのは8歳のとき。礼儀作法を重んじ、精神力も体力も養われる剣道にのめり込んでいきます。そんな澤少年の行く手を阻んだのが、第二次世界大戦でした。16歳になっていた彼は海軍航空隊に入隊。運よく生き延びましたが、終戦後、GHQ(連合国最高司令官総司令部)による武道の弾圧で剣道具一式を取り上げられてしまったのです。

「物のない時代に苦勞して手に入れた剣道具を没収され、死ぬほど悔しかったです。道具はなくとも剣道の伝統だけは絶やしてはならないと心に誓いました」と振り返ります。

GHQ撤退後は剣道が復活。岡山県で働いていた澤さんは、剣道ができなかった約5年間で取り戻すかのように練習に打ち込みました。仕事は激務でしたが、どんなに忙しいときも練習を欠かしませんでした。

「身長が低いので相手が大きいと面を打ち込まれます。元来負けず嫌いな性格の私は、自分

なりの勝ち方を研究し続けました。練習は職場の剣道場だけでなく、剣道の達人が多い警察署を渡り歩きました。持ち前の敏捷性と鍛え抜いた集中力で、たどり着いた技が出小手でした」
数々の大会で良い成績を残し、昭和55年には七段を取得、日米親善剣道大会で助監督としてハワイ遠征に参加したことも。昭和60年、定年退職を機にふるさと国分に帰省すると、時を同じくして建設された国分南中学校剣道場で指導を始めます。

「剣道で一番大切なことは礼儀。礼に始まり礼に終わる。ことを子どもたちに学んでほしくて、厳しく指導してきました」と澤さん。自身の現役時代同様、指導に対しても一切の妥協を許しません。指導を始めて30年。国分南中の全国大会出場は7回に上ります。数年前からは「精神の訓練に役立つ」と、ほかの剣道場での練習や試合に参加した後は、必ず全員で会場のトイレを掃除します。

これまで数多くの児童、生徒に接してきた澤さんが、彼らに願うのは「人の役に立つ人間になってほしい」こと。これは幼少の澤少年がいつも両親に言われていた言葉でした。

「剣道を通して、彼らが芯のある人間に成長するよう全力でサポートしたい。そして歴史ある剣道に誇りを持ち、受け継いでいってほしいですね」

悪いときには厳しく叱り、試合に勝ったときには一緒に泣いて喜ぶ。閉ざされかけた剣の道を切り開いてきた剣士は、後進のため今も歩き続けます。

澤公雄さん(87)

8歳から剣道を始め、剣道一筋80年。教士七段。30年前から国分南中、広瀬道場剣道スポーツ少年団の指導に携わる。全国スポーツ少年団記念表彰、始良伊佐地区体育協会功労者表彰など多くの表彰歴を持つ。剣道と書写と朝のラジオ体操が元気の秘訣。七段取得の記念に購入した剣道具を現在も愛用。国分広瀬在住。



生徒の本気に全身で応える



国分南中の剣道場で生徒に手本を見せる澤さん

郷土史への扉

今回はキリシマツツジの広がりについて述べましたが、今回はキリシマツツジの由来について紹介します。

ツツジは私たち日本人にとって身近で最もポピュラーな植物ではないでしょうか。花木として庭園や公園、公道の緑地帯などに植栽されるほか、鉢植えや生け花にも利用され、広く観賞されています。

一、ツツジとは

ツツジは、学術的にはツツジ科ツツジ属のうち、シヤクナゲ類を除いたもの

の総称であり、四月から六月にかけて花が咲き、冬期は半分ほど落葉します。主として北半球に分布し、マレーシア、オーストラリアにもあります。日本では山野に多数の種類が野生し、また、観賞用として多くの品種改良されたツツジが栽培されています。

歴史的には『出雲国風土記』(七三三)や『万葉集』(七五九)の中に見られ、万葉集では、茵花、都追茲花、白管仕、白管自、丹管士、石管士の名で九首が

詠まれています。

特に、万葉集の二巻には
水伝ふ 磯の浦廻の 石管士

茂く咲く道を また見なむかもと詠われていますが、この磯の浦廻とは、天武天皇の子、草壁皇子(六六二〜六八九)の宮殿の庭園のことであり、七世紀後半にはすでにツツジが庭木として観賞されていたことがわかります。

二、キリシマツツジとは

キリシマツツジは、その名のとおり霧島山が原産のツツジで、江戸時代後期に薩摩藩領内の名所や地誌を記した『三国名勝図会』には次のように書かれています。

キリシマツツジと霧島 その②

「映山紅は、霧島山中に多く自生し、咲き誇った時は山全体が燃えたようになつた。(中略)現在、江戸でもてはやされているキリシマという躑躅は、寛文年間(一六六一〜一六七三)に伊勢津藩の藤堂出水守高久が霧島山から取り寄せ、江戸郊外の柴井にある下屋敷に植えて愛でた。下屋敷に出入りしていた植木屋伊兵衛が接木や挿木で増やし、江戸で流行した」

キリシマツツジを「映山紅」と表現

していることから、新緑の山中に紅色のキリシマツツジが非常に映えたことがうかがえます。また、第三代津藩主藤堂高久は無類の花好きだったため、親交のあった薩摩藩から紅色の鮮やかなツツジを取り寄せて、津藩の別邸となっていた柴井の下屋敷に植栽し、紅色のツツジを好んで観賞したとも書かれています。さらには、庭師として出入りしていた植木屋伊兵衛(きりしま屋伊兵衛)が、剪定したキリシマツツジの枝葉を自宅に持ち帰り、接木や挿木で増やしたことから、キリシマツツジは藤堂家の庭園から広まったと考えられます。当時は、前回で述べたように、庭園造りが盛んに行われており、時流に乗ってキリシマツツジは江戸で大流行しました。

また、大老 柳沢吉保が造園し、今も東京都文京区にある「六義園」(一七〇二)は、江戸時代を代表する大名庭園(国の特別名勝)ですが、ここはキリシマツツジ(本霧島)をはじめ、その後品種改良した「八重霧島」「紅霧島」「大盃」「紫霧島」「日の出霧島」など十七世紀後半のころの古い品種が現存する貴重な庭園となっています。キリシマツツジの名所地としては、京都府の長岡天満宮や、館林市のつづじヶ丘公園、石川県能登地方などがあります。



キリシマツツジ



このように、キリシマツツジは霧島山から江戸に運ばれ、染井地域で栽培が盛んに行われ全国に広がりました。

三、キリシマツツジとミヤマキリシマ

「花は霧島 煙草は国分」と歌われるおはら節の「霧島」はミヤマキリシマのことですが、古くは『三国名勝図会』に書いてあるキリシマツツジと同一視され、どちらもキリシマツツジと呼ばれていました。

明治42年に、植物学者の牧野富太郎博士は、霧島原産で園芸種として改良して広く植栽されているキリシマツツジと、霧島をはじめ雲仙や阿蘇に自生するツツジを区別するために、後者を「深い山に咲くツツジ」という意味で「ミヤマキリシマ」と命名しました。

今回は能登キリシマツツジとキリシマツツジの里帰りについて紹介します。(文責 鈴)

※藤堂高久は津藩安堵のため、老中であった柳沢吉保に接近しキリシマツツジを献上したといわれている。



霧島山が国立公園に指定されて80周年。国立公園をもっと知って、もっと楽しむためのシリーズ第10回は、南九州ケーブルテレビネット(株)の帖佐侖美さんが、霧島市ふるさとガイドクラブの後藤辰美さんの案内で冬の大浪池登山に挑戦してきました。

霧氷が迎える幻想的な冬山

霧氷とは、冬山で見られる着氷現象の一種。氷点下で水蒸気や霧が樹木に付着して発達する、白色や半透明の氷層のことです。樹氷、粗氷、樹霜の3つに分類されます。

体験の様子をケーブルテレビで放送します。

- 放送日時=2月21日(土)～24日(火)、2月28日(土)～3月3日(火)
午前3時～、8時～、正午～、午後4時～、8時～、11時～
- 番組名=南九州ケーブルテレビ「情報マルシェ」

こちらの2次元コード
からも視聴できます→



霧島錦江湾
国立公園で
遊ぼう



登山初心者も手軽に
別世界を楽しめます

寒さを超える
感動がここに

今回のナビゲーター

霧島市ふるさと
ガイドクラブ
後藤辰美さん

体験者

南九州ケーブルテレビ
ネット(株) 放送制作部
帖佐侖美さん

大浪池周回
約2時間40分
大浪池～韓国岳登山
約4時間30分



火口を
縁取る霧氷
条件がそろった日は樹木が真っ白に。
風が吹くたびに、はらはらと霧氷が舞う。

霧氷の見られる条件

- ・気温が-5℃以下であること
 - ・霧が発生していること
- ※前日がかもりや雪で、冷え込んだ翌日早朝は見られる可能性が高い。

..... 入山規制中の登山道
—— 登山可能な登山道



満開の雪の花
木の枝を薄く覆う霧氷は、まるで白い雪の花。太陽の光を浴びるときらきら輝く。



サクサクの霜柱発見
霜柱や10日ほど前の残雪、つららなど冬ならではの思い出にお出迎え。

←3月の中ごろになると、大浪池ではマンサクが見頃を迎える。

霧島市ふるさとガイドクラブが安心安全な登山を案内します。料金はコース、内容によって異なりますので、問い合わせください。
☎(57)1588

冬山登山の注意点

- ・防寒対策は重ね着を基本とし、温度調整をする。
- ・耳まで保護できる帽子、手袋、登山靴を着用する。
- ・雪が深いときや氷が張っているときは、アイゼンやストック、スパッツなどを使用する。

季節ごとにさまざまな表情を見せる霧島山。冬はいったいどんな景色が広がっているのだろうと、わくわくしながら冬山登山に挑戦しました。この日は、風は吹いていたものの絶好の登山日和。50年も山に登り続けているという後藤さんに見所を教わりながら歩くこと40分、大浪池に着きました。眼下にはいつもより冷たそうな色をした大浪池、正面には白く染まった韓国岳が見えました。普段とは違う美しさに大興奮。

大浪池を東回りにしばらく歩くと木々に白い雪のようなものが付いているのを発見しました。木に付いた水分が冷えて凝結した、霧氷と呼ばれるものです。春に花を咲かせるマンサクやミヤマキリシマの蕾に付着した霧氷はまるで白い花のよう。冬にしか見られないその美しい光景に息をのんで見入ってしまいました。

大浪池は比較的緩やかな斜面なので誰でも気軽に登山を楽しめそうです。今度は冬の韓国岳にも挑戦したいな。

(体験レポート 帖佐侖美)

お知らせ

市議会を傍聴しませんか

- 2月17日(火)／本会議初日 (開会、議案上程、提案説明)
 - 2月24日(火)／本会議(質疑、議案処理、一般質問)
 - 2月25日(水)～27日(金)／本会議(一般質問)
 - 3月11日(水)／本会議(補正予算委員長報告、採決)
 - 3月27日(金)／本会議最終日(委員長報告、採決、閉会)
- ※全て午前10時開会。
※日程は変更になる場合があります。
※本会議はインターネットで中継放映し、ケーブルテレビでも生放送されます。
- 市議会インターネット動画をスマートフォンで視聴できます
平成26年第1回定例会以降の本会議映像(一般質問部分のみ)をインターネットの動画共有サービス「ユーチューブ」で配信しています。スマートフォン・タブレットから手軽に見ることができます。
霧島市議会ホームページか

ら「霧島市議会インターネット中継、YouTube版」を選択するか、ユーチューブのサイトから直接検索してください。

また、平成26年11月発行の「市議会だより」から、一般質問のページに二次元コードを掲載しています。アプリを起動し、スマートフォンなどで読み取ること、一般質問の動画が簡単に視聴できます。

◎ 自治会事務局 ☎ (64) 09 22

住みよい地域づくりのため 自治会に加入しましょう

2月は自治会加入推進月間です。本市には、地域住民がお互いに助け合い、協力しながら安心・安全で住みよい地域づくりを行うための組織として「自治会」があります。自治会では、防犯・防災、教育、子育て、親睦活動などのさまざまな活動を通して「地域力」や「地域の絆」を育てています。

日ごろから築き上げた地域の絆がいざというときの力になります。皆さん、自治会に

入りましょう。

◎ 共生協働推進課 ☎ (64) 0988

「霧島市道義高揚豊かな心 推進大会」、「安心・安全 まちづくり大会」合同開催

善行者表彰と霧島警察署交通課長による講話、記念講演を行います。(参加無料)

● 日時 2月28日(土) 午前9時15分～正午

● 場所 霧島市民会館

● 記念講演演題／講師 前向きに生きるために／

バーバラ植村さん(鹿児島県出身の歌手AIさんの母親で講演やタレント活動を行う文化人)

◎ 総務課市民運動推進室 ☎ (64) 0915

第25回文化協会単人支部 チャリティショー

舞踊やダンス、箏、歌謡などの芸能発表をお楽しみください。(全席自由)

● 日時 2月22日(日) 午後0時30分から

● 場所 単人農村環境改善センター

えびの高原

池巡り自然探勝路、2か月ぶり一部開放



硫 黄山の火口周辺警報で立ち入り規制されていたえびの高原「池巡り自然探勝路」の一部が12月26日、約2か月ぶりに開放されました。警報が発表された10月24日に閉鎖された同探勝路。霧島山火山対策連絡会議で、立ち入り規制範囲の一部変更が決まり、硫黄山火口から半径1km圏外が開放となりました。

同探勝路は白紫池、六観音御池、不動池の3火口湖を巡るコース。開放されたのは、白紫池と六観音御池を巡るコースです。不動池は硫黄山火口から半径1km以内にあるため、立ち入り規制中です。

寒い日の白紫池は氷が張り、幻想的な雰囲気を醸し出すことも。冬の池巡り自然探勝路を、ぜひお楽しみください。※えびのエコミュージアムセンターは休館していましたが、12月19日から開館しています。

☎=【登山道について】 霧島市観光課 ☎ (64)0895 【県道の通行規制について】 宮崎県小林土木事務所 ☎ 0984 (23)5165

※問=問い合わせ先 申=申し込み先
 ※健マ=「健康マイレージ」対象の事業（20歳以上が対象）
 健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

- 入場料 1500円
- ◎問 文化振興課 ☎(42)1119

天降川ボランティア清掃

天降川の自然を守るためボランティア清掃を実施します。お近くの集合場所にお集まりください。（自由参加）

- 日時 2月21日（土）午前9時～11時（雨天中止）
- 集合場所 日当山橋下橋之口側、日当山温泉公園、天降川運動公園、市水道部、野口橋下駐車場、ふるさとの川河川公園駐車場、武安

橋前。
 ※日当山橋下橋之口側は午前7時30分集合

◎問 隼人市民福祉課環境衛生グループ ☎(45)5111

（内線5044）

軽自動車・バイクなどの抹消・変更手続きは早めに

軽自動車税は、毎年4月1日現在で原動機付自転車、軽自動車、小型特殊自動車（農耕用を含む）、二輪の小型自動車などを所有または使用している方に対して課されます。軽自動車などを解体した場合は登録の抹消、譲り渡された場合は名義変更をしてください。手続きがないと、来年度も引き続き課税されます。

■手続き窓口について

原動機付自転車（125cc以下）、小型特殊自動車（農耕用を含む）は、税務課、各総合支所地域振興課、福山市民サービスセンターで手続きできます。（ナンバープレート、新旧所有者の印鑑、車台番号の分かる書類が必要）
 軽自動車、二輪の小型自動車などは鹿児島県軽自動車協会ですて手続きできます。

- ◎問 税務課市民税グループ ☎(64)0902、鹿児島県軽自動車協会 ☎099(261)4011

交通事故被害者を援護

独立行政法人自動車事故対策機構（NASVA）では、交通遺児などへの育成資金の貸し付けを行っています。これは、自動車事故が原因で死亡した方、重度の後遺障害が残った方の子ども（0歳～中学生）を対象に、育成資金を無利子で貸し付ける制度です。返済期間も長く（20年以内）安心して借りられます。

●貸付金額

- ・一時金 15万5000円
 - ・月額 2万円
 - ・入学支度金（小・中学校入学時） 4万4000円
- 自動車交通事故による重度の後遺障がい者には、介護料の支給制度もあります。

◎問 自動車事故対策機構

交通事故被害者ホットライン ☎0570-1000738

緑の募金にご協力ください

今年も2月から春期「緑の募金」運動が始まります。昨年度は市全体で349万4096円もの募金が集まりました。ありがとうございます。

この募金を利用して小・中学校や自治会、市民団体などに緑化活動の助成を行います。今年度も募金事業のご理解とご協力をお願いします。

※緑化活動を希望する団体は問い合わせください。

◎問 みどり推進協議会事務局（林務水産課内） ☎(64)0938

かごしまの農林水産物 認証制度「K-GAP」をご存知ですか

鹿児島県では農林水産物に対する消費者の安心と信頼を確保するため、安心と安全に関する独自の認証制度「K-GAP」を設けています。「安心」では生産履歴の記録などの管理体制に関する基準があり、「安全」では栽培管理などの生産に関する基準・出荷に関する基準があります。それらを審査・認証して安心で安全な農林水産物で

H A T S U M A S A I



霧島市を代表する伝統行事「初午祭」が鹿兒島神宮で開催されます。初午祭は、家内安全、五穀豊穰、畜産奨励、厄払いなどを祈願するお祭りです。当日は太鼓や三味線の音に合わせてシャンシャンと鈴を鳴らしながら、20数頭の鈴かけ馬と約2,000人の踊り連が一体となり、踊りを奉納します。毎年、県内外から多くの見物客でにぎわい、南九州に春の訪れを告げる伝統行事です。

- 期日 = 3月8日（日）
- 時間 = 午前9時30分～午後4時ごろ（出場馬数によって多少変わります）
- 会場 = 鹿兒島神宮とその周辺

※鹿兒島神宮周辺の道路は交通規制が敷かれるため、混雑が予想されます。ご来場の際は、なるべく公共交通機関を利用してください。
 ※詳細については別途配付予定の交通規制図チラシや霧島市総合観光案内ホームページなどでお知らせします。

問 = 観光課観光PRグループ ☎(64)0895

あることを証明しています。本市では17の団体で12品目（お茶、ニガウリ、ゴボウ、トマト、ナシ、ブドウなど）が認証されています。

◎**農政畜産課** ☎(64)0910

鹿児島県の最低賃金

最低賃金は、臨時、パート、アルバイトなど全ての労働者に適用されます。

●最低賃金 678円

ただし、次の産業に該当する場合は、特定（産業別）最低賃金が適用されます。

●百貨店、総合スーパー 93円

●電子部品、デバイス、電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 720円

●自動車（新車）小売業 48円

◎**鹿児島労働局労働基準部賃金室** ☎099(223)8278

食品ロスをなくそう

まだ食べられるのに捨てられている食べ物のことを「食

品ロス」といいます。日本では家庭から年間約200〜400万トンの食品ロスが出ているといわれています。「もったいない」を意識して、食べ物の無駄をなくしましょう。

【食品ロスの削減ポイント】

●食材は必要ときに必要な分だけ買う

●余った食材も活用する

●「賞味期限（おいしく食べることのできる期限）」と「消費期限（長く保存がき

かない食品に表示。食べても安全な期限）」の違いを正しく理解する

●食べ残しをしない

◎**霧島市消費生活センター** ☎(64)0964

特定優良賃貸住宅のご案内

特定優良賃貸住宅とは、鹿児島県から認定を受け、建設費の補助を受けた民間の賃貸住宅で、中堅所得者向けの住宅です。間取りは3LDK程度で、子育て世帯を想定した広さとなっています。家賃は周辺の民間賃貸住宅と同程度です。

※市内の特定優良賃貸住宅に

ついでには、問い合わせいた

◎**鹿児島県土木建築課住宅政策室** ☎099(286)3738

子ども芸術祭inきりしま

劇団道化による人形劇「のらペンギンのペンじろう」を上演します。子どもから大人まで楽しめる内容です。

●日時/場所

●2月22日(日)午前11時から

／サンあもり

●2月23日(月)午後6時30分

から／高千穂小学校

●2月24日(火)午後6時30分

から／国分南小学校

※上演時間は約1時間です。

●チケット 前売り1200円(当日は1500円) ※2歳以下は無料

◎**きりしま・国分子ども劇場「穂満」** ☎099(4772)3859

募集

市民活動応援講演会

市民活動に興味のある方、

始めようと考えている方などを対象に、市民活動の応援講演会を開催します。

●日時 2月17日(火)午後2時〜3時30分(受付 午後1時30分から)

●場所 国分公民館大研修室

●講演テーマ 魅力ある市民活動のための話題づくり

●講師 東川隆太郎さん(かごしま探検の会代表)、大山タカヒロさん(合同会社きりしまミクス代表) ※対談式による講演

●受講料 無料

●定員 先着30人

●申込方法 直接または電話

●申込期限 2月13日(金)

◎**共生協働推進課** ☎(64)0988

霧島市障がい者計画及び第4期障害福祉計画(案)に対するご意見を募集

障害のある人が地域社会で安心して生活を送っていたための計画を策定中です。ご意見は計画策定の参考とさせていただきます。

※ご意見に対する個別の回答

はしません。 ●公表(意見受付) 期間 2月17日(火)〜3月9日(月) 必着

●公表方法 市ホームページ、情報公開室(市役所国分庁舎4階)、長寿・障害福祉課、準地域振興課、各総合支所地域振興課、コア・よか、福山市民サービスセンター。

●提出方法 閲覧場所での所定意見書による提出、郵送・ファクスでの提出、市ホームページで入力して提出。

◎**長寿・障害福祉課障害福祉グループ** ☎(64)0855、FAX(45)1900

第9回鹿児島県障害者スポーツ大会

第15回全国障害者スポーツ大会の予選を兼ねる大会です。

●日時 5月10日(日)午前9時から

●場所 県立鴨池補助競技場(鹿児島市) ほか

●参加資格 身体障害者手帳の交付を受けている方

●競技種目 陸上、卓球、アーチェリー、水泳、ボウリング、フライングディスク。



※**問**=問い合わせ先 **申**=申し込み先
 ※**健マ**=[健康マイレージ]対象の事業(20歳以上が対象)
 健康マイレージについての問い合わせは、健康増進課健康づくり推進室 ☎(64)0905

(障害区分で出場種目に制限あり)

●定員 30人程度(申し込み多数の場合は抽選)

●申込期間 2月16日(月)～3月6日(金)

※身体障害者手帳と印鑑をお持ちください。代理人の場合は代理人の印鑑も必要。

◎**問・申** 長寿・障害福祉課 障害福祉グループ ☎(64)0855、隼人市民福祉課、各総合支所市民福祉課

溝边上床公園情報



第7回囲碁大会

●日時 2月21日(土)午前9時30分から(受付 午前9時から)

●場所 溝辺コミュニティセンター

●競技方法 グループごとの総当たり戦

●参加料 1300円(賞品・昼食代含む)

●定員 先着32人

●申込期間 2月9日(月)～18日(水)

第8回テニス大会

●日時 3月8日(日)午前9時から(受付 午前8時から)

ら)

●場所 上床どーむ・テニスコート

●種目 ダブルス戦(一般の部、シニア(60歳以上)の部)

●参加料 1組2000円

●定員 先着男女各12組

●申込期間 2月16日(月)～28日(土)

◎**問・申** 溝边上床運動公園 ☎(58)2451

メディアセンター主催講座



1105 / 仕事に役立つエクスセル基礎講座

●日時 3月10日(火)、11日(水)午後6時30分～8時30分

●会場 メディアセンター

●受講料 500円

●定員 20人

●申込締切 2月24日(火)必着

1209 / パソコン出前講座

●日時 3月13日(金)午後1時30分～4時30分

●会場 霧島総合支所201会議室

●受講料 500円

●定員 10人

●申込締切 2月27日(金)

必着

●申込方法 往復はがきに講座番号、講座名、住所、氏名、電話番号を記入し郵送。

●受講決定 是がきで通知(申し込み多数の場合は抽選)

◎**問・申** メディアセンター ☎(64)0919、〒899-4394 国分中央三丁目45-1

394 国分中央三丁目45-1

サン・あもり自主講座



■たのしいテニス講座(硬式)

●日時 3月～5月(毎週火曜、全10回)午前10時～正午

●開講日 3月3日(火)

●受講料 4000円

●定員 先着20人

●申込方法 直接または電話

●受付 2月10日(火)から

たのしい骨盤体操

●日時 3月～5月(毎週水曜、全8回)午後7時～7時50分

●開講日 3月4日(水)

●受講料 3460円

●定員 先着30人

●申込方法 直接または電話

●受付 2月10日(火)から

◎**問・申** サンあもり ☎(43)3373

国際交流員と交流しよう



	韓国カルチャー体験	英語でティータイム	国際料理キッチン
日時	3/5(木) 14:00～15:30	①3/11(水) 14:00～15:00 ②3/18(水) 14:00～15:00	3/11(水) 18:00～20:30
場所	国分公民館調理講義室	国分公民館調理講義室	国分公民館調理実習室・講義室
対象	霧島市民	英語初級レベル以上の方(会話は英語で行います)	霧島市民
参加費	100円	無料	500円
申込期限	3/2(月)	①3/10(火) ②3/17(火)	3/6(金)
内容	韓国独特の柄が入った折り紙を使って、民族衣装マチョゴリやポッチュモニ(福袋)などを作ります。	アメリカの国際交流員と英語で異文化交流をしましょう。参加は1人月1回に限ります。	中国の国際交流員と春巻き、風中華料理、蛋香煎餅を作ります。

市営住宅の入居者募集

市営住宅の入居者募集
 国分・隼人地区の市営住宅(1月31日までに入居準備のできた部屋)の入居者を募集します。希望の方は申し込みください。

申し込みは団地ごとに受け付け(1世帯1団地に限り)、申し込み多数の場合は抽選となります。

●申込書の配布・受付期間 2月10日(火)～23日(月)

●抽選日 3月4日(水)

※申し込みについては所得制限などの条件があります。

※部屋の詳細は問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

※中所得者向けの特定公共賃貸住宅と国分・隼人地区を除く市営住宅は、随時募集しています。希望の方は申し込みください。

◎**問** 国分隼人地区は建築住宅課住宅グループ ☎(64)0909、そのほかの地区は各総合支所産業建設課

●定員 各先着15人
 ※申し込み少数の場合は中止することもあります。
 ※電話か市ホームページから



吉永いつえさん(国分)

Readers Voice

読者の声

このコーナーは読者の皆さんからの声を伝えるページです。本誌への感想、霧島市への思いなど、たくさんのお寄せください。



です。皆さんのご意見や体験談をお寄せください。

晩

夏より、つがいのツバメがわが家の軒下に居座っています。暖冬と見越し、南方へ帰らなかつたのでしょうか。毎晩、か細い体を巢の中で寄せ合っています。できれば家の中で温めてやりたい。主人はツバメに「チビちゃん」と呼び名を付けて、夕暮れには帰って来たのか確認するのが日課となりました。もう家族の一員です。ともにインフルエンザに気を付けて春の訪れを待つことにします。(川跡のみつちゃん66歳女性)

ツバメは人間と自然との共存を象徴する野鳥といわれ、自宅に巣を作ると縁起が良いとされています。でも、近年はツバメが減少しているようです。暖かい春までもう少しがんばれば「チビちゃん」。

霧

島市に住んで7年。今は子育て、仕事の両立でなかなか余裕がありませんが、以前広報に掲載された音

訳グループ「さざなみ」さんの記事が強く印象に残っています。今の忙しさも、いずれは落ち着くときが来ます。今はそのときのために「何をしたいか」を探っているところでもあります。自分が別の場でどんな形で人の役に立てるのか、少しずつ準備をしておきたいと思います。あと10年余りしたら私も仲間に入れてください。そんな気持ちにさせてくれた広報誌。これからも楽しみにしております。(ピンクのシクラメン47歳女性)

FMきりしまでは毎週土曜日の午前7時半から9時まで音訳された広報きりしまが放送されています。音訳の「さざなみ」さん、いつもありがとうございます。ピンクのシクラメンさんの声がラジオから聞こえるのを待っていますね。

毎

回「読者の声」を拝読させてもらっています。霧島市で育ち、十数年前に会社を退職し現在に至っています。今は妻とウォーキングを楽しんでいます。小中学生と

先

日、30年ぶりにある歌手のコンサートに主人と出掛けました。私が日ごろ耳にしないジャンルの歌手だったので、少し渋々気分で同行しました。でもコンサートが始まると嘘のように歌に引き込まれていきました。それから2時間半、歌に酔い酔いで最後は自分の年も忘れて立ちあがってノリノリでした。久しぶりのこの気持ちにすっきりした気持ちで帰りました。何でも体験してみるのもいい刺激になりますね。連れて行ってくれた主人に感謝です。またコンサートに行きましょ

う。旦那様。(がんばるママちゃん49歳女性)

● 今月は歌をテーマに特集しました。いかがだったでしょうか。歌の持つ力はすごいですね。さあ、次のコンサートもノリノリで。

広

報きりしまはいろいろな特集があつて、知らなかつたことが多いなあと思つて感じます。特攻のこともその一つです。「特攻隊が国分と溝辺にあつたなんて知らなかつた」と言うと、小2の息子が「特攻隊って何」と聞

いてきました。戦争のこと、特攻隊のこと、そして今は平和で幸せなんだと話をしました。人の風景で知人が紹介されたときも、親子で考えたり話のきっかけだったり、情報を得るだけでなく家庭での学習になつているように思います。(N・M36歳女性)

● 国分と溝辺から特攻隊が飛び立つたという事実。広報きりしまを学校教育の素材として活用して欲しいとのご意見もいただきました。今年は戦後70年の大きな節目の年。広報誌でも特集を掲載する予定

今回のナビゲーターはFMきりしまパーソナリティの徳留璃沙さんです。

「私が紹介するのは、霧島で歌手として活躍している隼人加織さんです。幅広いジャンルの歌を歌い、私の好きなアニメ『フォトカノ』の主題歌『恋するレンズ』も歌われています。霧島市が大好きで、まちのPRにも取り組んでいます」

私のルーツ 「霧島市」を全国にPR

日 本人の父とブラジル人の母を持つ女性シンガー隼人加織さん。昨年は全国40か所以上でライブを展開。今年も1月の大阪からライブがスタートしています。

そんな富山県出身の彼女が霧島市に移住したのは、自分のルーツと関係しています。

「祖父から、うちは隼人族と関係がある」と聞かされ、霧島市に行ってみようと思っていました。4年前、初めて訪れたとき、隼人駅に下りた瞬間、全身に何か伝わってくるものがありました。ここが私のルーツだと感じ、3年半前に移住しました」

隼人さんのお気に入り霧島の魅力探しと霧島茶です。

「霧島市の好きなのところは、少し隠れたところに魅力があること。時間があるときには、魅力を探しに出掛けますが、宝探しみたいですごく楽しいです。もう一つが霧島茶。初めて飲んだとき、「この甘い飲み物は何」とびっくりしました。それからハマってしまい、急須での入れ方などを勉強しています」

ライブのときには、霧島で見つけた魅力と霧島茶をPRする隼人さん。これからも歌声と共に霧島の魅力を全国に届けます。



隼人加織さん (30)

平成20年メジャーデビュー。得意のファルセットを生かした唯一無二の歌声や等身大の詞による世界観で注目を集めます。自らが作詞作曲した「虹～arco iris～」はブラジル日本友好100周年のテーマソングになっています。



隼人加織
オフィシャルサイト

35 年間の東京生活にピリオドを打ち、霧島で一人暮らしだった93歳の母

あいさつは大事ですよ。顔なじみになってくるとウォーキングも楽しみが増えますね。これからも晴れ晴れとした気分健康づくりを続けられるといいですね。

下校時にすれ違うとき、気持ちの良いあいさつをしてください。気分が晴れ晴れします。それ以上に、自転車通学の高校生のあいさつは、特に晴れ晴れします。小学生のころからの教育かなと思って見送っています。(F・N72歳男性)

退院後は順調でしょうか。まだまだ寒い日が続きます。風邪など引かれぬようくれぐれ

と住み始めました。「百歳まで元気に自分の家で暮らしたい」という母の願いをサポートするために、この10年は母とともに気持ちよく過ごす時期と決めました。でも11月中旬に転倒し、大腿骨骨折で手術しリハビリが始まりました。病院のスタッフの皆さまには大変お世話になり、毎日が感謝の日々でした。同時に遠くの霧島の山々、桜島の雄大な姿、ゆったりと流れる天降川に癒やされた1か月でした。(M・S64歳女性)

れもご自愛くださいませ。号載っている絵手紙が大好きで楽しみに待っています。いろいろな感性、人それぞれで、私はどんなふうに表現するかと自分なりに紙に描いてみたりしています。今年はどうとう息子が受験です。息子よ、自分で決めた道は明るいぞ。母は見守ることしかできません。(つつぱる母ちゃん33歳女性)

今月の絵手紙は女性ランナー。都道府県女子対抗駅伝で鹿児島県は見事に5位。京セラ女子陸上部が霧島市に拠点を移し、今月のドリームで

紹介した高校生も新加入。ますます楽しみます。

女を出産したとき、日々のわが子の世話が精いっぱいではなかな外へ足が進みませんでした。市の子育て教室の案内を見て初めて参加。同じ月齢のお母さんたちと同じグループになり、そこで初めてのママ友ができました。3年たった今でも、親子ともども大の仲良しです。友だちを作るのが上手ではなかったのですが、あの時に思い切った子育て教室に参加して良かったと本当に感謝しています。第2子の出産後も子育て教室やサロンに参加して

います。保健師さんや保育士さんのお話がつともためになります。これから出産する方、まだ参加されていない方、おすすめですよ。(あきママ35歳女性)

教室に参加して良かったですね。子育てに不安を持っているお母さん方、霧島市には子育て支援教室やサロンもたくさんあります。ぜひ足を運んでみてください。

お便りをいただきありがとうございます。文章は紙面の都合上訂正させていただきました。ご了承ください。

◎「広報きりしま」にお便りをくださった方の中から「かれい川の湯」様より「入浴カード3,000円分」を5人の方にプレゼント。応募締め切りは2月20日(金)当日消印有効です。
※当選の発表は、商品の発送を持ってかえさせていただきます。



←市ホームページからもプレゼントの申し込みができます。

2 PRESENTS

かれい川の湯の入浴カード(3,000円分)をプレゼント

清らかな水の流れが奏でるせせらぎと、カワセミのさえずりが静かに響き渡る。天降川の静寂に包まれながら湯船につろぐ、広々とした内風呂と野天の岩風呂。やわらかな湯の中で、癒やされていく心と体。ぜひいたく時間をどうぞごゆっくりとお楽しみください。



中綴じのクーポンもご利用ください。

www.kareigawa.com

隼人町嘉例川4471-2 ☎(54) 6060 営業時間:10時~24時(最終受付23時)
※ご予約は当日のお電話予約のみ承っています。

かれい川の湯 検索



※読者プレゼントを提供して下さる方を募集しています。秘書広報課広報広聴グループ ☎(64) 0955 までご連絡ください。

霧島市ホームページ



市ホームページまたは携帯サイトをご覧ください。ご利用の携帯電話や読み取りアプリによって表示される内容が異なります。

霧島市公式ツイッター



市の情報をタイムリーにお知らせします。

◎人口 / 127,671人(+92)
男性 / 61,371人(+80)
女性 / 66,300人(+12)
出生136人 / 死亡112人
転入309人 / 転出234人

◎世帯数 / 59,490世帯(+19)
(平成27年1月1日現在)

いつでもどこでも広報きりしまが読める「i広報紙」始めました

i広報紙とは、スマートフォン・タブレット用無料アプリで、登録すると最新号の「広報きりしま」を、いつでもどこでも読むことができます。

- 市ホームページに接続しなくても、「広報きりしま」を毎月発行日に自動で端末に届けます。
- 画像の切り取り・保存ができるため、メールやSNSの投稿などに利用できます。
- ページめくりや拡大・縮小などの操作も簡単です。

ダウンロード方法

● iPhone、iPod touch、iPadの場合

右記の二次元コードか AppStore から無料でダウンロードできます。



● Androidの場合

右記の二次元コードか Google Play から無料でダウンロードできます。



※このアプリは、株式会社ホープが作成したものです。アプリ閲覧中は広告が表示されますが、その内容に霧島市は一切責任を負いません。



青に映える白(韓国岳)
12月30日 午後1時19分

今月の表紙

年明けの登山取材の下見を兼ねた昨年末の登り納め。硫黄山周辺が規制中のため、ピクニック広場から韓国岳、大浪池を目指しました。果てしなく続く急な階段、足が上がりなくなり、「コースが変わればこんなにきついのか…」と心が折れそうになったとき、視界に飛び込んできた真っ白な霧氷の世界。疲れを忘れて一心にシャッターを切りました。当日は曇り空でしたが一瞬青空が顔を出し、霧氷の白さが一層際立つ、絶景に出会えました(上野)

【撮影データ】

デジタルカメラ レンズ18~55mm
F3.5-5.6 1/1250s F8.0 ISO400

私 の2次会コースは大抵「カラオケ」。理由は単純に「楽しいから」。今回の取材で歌は体にも良いと分かりました。思い返せば、常にノリノリで合の手を入れ、タンバリンを振る。運動不足の私の健康はカラオケでできています。ただし翌朝、記憶には残っていません(川床)

地 元霧島地区の成人式を取材した。ろうそくの明かりに照らされて新成人が誓いをたてる「ともじびのつどい」。約40年前から続く伝統の儀式だ。最近物忘れが多い自分も成人式の灯は鮮明に覚えている。あれから約30年。そのときの誓いを思い出せないのが残念だ(上小園)

1 月は下見、取材、再撮など4回に渡って冬山登山。目当ては大浪池の霧氷。運が良いのか悪いのか見られたのは取材の日だけ。それでも韓国岳の霧氷、大浪池の雨水、遠くに開聞岳や屋久島が見えた日も。山の魅力は無限と再認識した年明けでした。あ〜膝が痛い…(上野)

広 報担当になって初めて病気で校了日を休んでしまった。私が抜けた穴を同僚が夜遅くまで頑張ってカバーしてくれたおかげで、無事に2月号を発行できました。支えてくれたみんなに感謝。健康と支え合う大切さを痛感しました。来月は休んだ分、頑張って恩返しします(美坂)

市長コラム 前田終止

ぶれない霧島市の地方創生
広報きりしま200号記念のプレゼントへの申し込みが900件を超え、大きな反響がありました。そのはがきやメールには「霧島市は住みやすい」「子育てをしやすい」などうれしいご意見が多く寄せられました。霧島市では、この9年余り、ほかの自治体に先駆けて積極的に移住定住施策などによる人口増対策、子育て環境の充実、働く場所の確保、地域経済高揚への対策などに、市議会や市民の皆さまと一緒に取り組んでまいりました。

政府は、昨年末に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、経済対策などを決定しました。ぶれない「霧島市の地方創生の新たな挑戦」を継続し、「働き学ぶなら霧島市」「住むなら霧島市」「子育てするなら霧島市」という声がたくさん聞けるようにいち早く「霧島市地方創生推進本部」を設置しました。これまでの成果をさらに伸ばし、課題に正面から取り組んでまいります。

今後、市の「人口ビジョン」や「地方創生総合戦略」を策定し、持続可能なふるさとを創ってまいります。

昨年は、竹下さんの孫の藍さん(当時横川小学校3年)もトンポチームで出走



第1回横川町職場職域対抗駅伝競走大会が開催されると聞き、スポーツなんでも好きという私は、すぐにチームを作り参加しました。30年前の39歳の時です。1区を走り、折り返し地点に差し掛かると、妻と当時小学生

私を変えてくれた駅伝大会

◎竹下 盛宏

だった息子2人が、大声で応援している姿が最高の思い出の一瞬として心に残っています。チーム名は「トンポ」。今年で連続30回出場、大変誇りに思います。そういえば「トンポ」「赤トンポ」と2チー

ム出場したこともありましたが、後年は息子2人も家業を継ぎ、トンポのメンバーとして私とバトンタッチしています。私はもっぱらサポート(補欠)役に回っていますが、まだまだ走る気力は十分に持っています。そこで今年30回大会を記念して、同世代の往年の走る仲間たちに大会出場を呼びかけたら大変喜んでくれました。

全員60歳から70歳代のじいちゃんたちです。紅一点のばあちゃんは「そういうことから明日から練習する」と張り切っていました。人間、目標があれば新たなパワーが年齢に関係なく生まれるんだと実感しています。大会はオープン参加で小学生、中学生そして全国大会出場の横川中学校女子駅伝部(ATG)も出場します。まさに親・子・孫の三世代で楽しくタイムが競えて、本当にアットホームなほほ笑ましい大会です。最近では、孫にも走りで負

けるようになってきたので、さぼり気味だったジョギングを開始しようと思っています。振り返ればこの大会は私の生活、生き方を変えてくれました。

ヘビースモーカーで余暇はパチンコ三昧の毎日。時々咳込んで大変なときもありましたが、本大会を機にいつしか走る楽しさ、汗をかく爽快な気分、そして多くの仲間たちに出会い、無理と思っていた禁煙も成功しました。現在の健康な体は、年に1回だけの大会ではありますが、私にはかけがえのないものを与えてくれた気がします。この大会のもう一つの素晴らしいところは、運営費、賞品など、全て地域の有志の人たちがスポンサーとして支援してくれる、まさに地域一体となった手作りの大会だということです。参加チームは15、16チームですが、賞品の数はその3倍の40以上を毎年提供していただいています。コースは横川の市街地を回

り、6区間を40分くらいで終わる、おそらく全国一小さな駅伝大会ですが、賞品の数は全国一だと思っています

地域の皆さんに愛され、健康と親睦、交流を与えてくれる本大会。40回、50回と未永く開催されることを祈念しています。そして私もまだまだ挑戦です。

脳梗塞で壮絶なりハビリを続けておられるミスタージャイアンツ長嶋茂雄さん。その理由は「もう一回走りたい」、その一念のこと。

皆さんはどう思われますか。走れるってすごいことなんです。走れぬってすごいことなんです。

Profile

たけした もりひろ(68)



横川町の竹下青果(株)取締役で霧島市商工会理事も兼務。大阪で働いていたが父親が病気になる、昭和44年に帰省。家業を継ぎ40年になる。毎朝、4時起床。宮崎中央青果や国分大同青果の組合員として仕入れを担当し、新鮮でおいしい青果販売に励む。現在、大会に向けジョギングを続ける日々。横川町中ノ在。

